

議題（1）第2次スポーツ振興計画に係る平成30年度事業実績について
ア 個別事業の実績について

○重点施策1 ラジオ体操の普及啓発

◆ラジオ体操は、誰でも手軽にできる体操です。スポーツをはじめのきっかけづくりや、健康づくりのひとつとして、ラジオ体操の普及啓発に努めます。
◆正しく効果的なラジオ体操ができるよう、スポーツ推進委員との協働による「おはよう！ふれあいラジオ体操会」事業や実技講習会の充実、小中学校をはじめとした関係団体への働きかけ、教本の作成などを行い広く普及啓発に努めます。

項目	内容	事業数		H30実績	H29実績	
		基礎年度(H26)	H29			H30
①ラジオ体操の普及啓発	手軽にできるラジオ体操をスポーツをはじめのきっかけづくりとして活用できるよう、事業や啓発活動に努める。	/	2	2	・NHKテレビのラジオ体操指導者によるケンサチラジオ体操会(3月24日):181人 ・おはよう！ふれあいラジオ体操会(夏休み期間) 参加実績:1日最大8,614人、延べ42,737人	・市制施行65周年記念事業ケンサチエクササイズ(9月23日):160人 ・おはよう！ふれあいラジオ体操会(夏休み期間) 参加実績:1日最大9,685人、延べ47,841人
②ラジオ体操指導会の充実	ラジオ体操の持つ効果を実感できるよう、幅広い世代を対象に、正しい動きを意識した講習会の充実	/	5	9	・市民向けラジオ体操実技講習会(7月7日):31人 ・教員向けラジオ体操実技講習会(2月15日):36人 ・まちかど講座ラジオ体操講習会(計5回):121人 ・学校向け講師派遣授業(計2回):289人	・市民向けラジオ体操実技講習会(7月9日):48人 ・教員向けラジオ体操講習会(2月16日):40人 ・まちかど講座ラジオ体操講習会(計2回):延べ370人

○重点施策2 企業とのスポーツ連携の強化

◆市内には、全国や世界で活躍する地元企業のスポーツチームがあります。選手やチームに関する市民への周知やジュニア世代の競技力強化のためのスポーツ指導の充実など、企業との連携強化に努めます。
◆市と地元企業スポーツチームとの補完関係の強化のためのホームチームサポーター事業の創設や、スポーツ大会の充実のため、協賛・ボランティアについて企業への依頼を行います。

項目	内容	事業数		H30実績	H29実績	
		基礎年度(H26)	H29			H30
①ホームチームサポーター事業の推進	安城市にあるトップ企業チームと補完関係を強化し、ジュニア育成やみるスポーツの振興	/	18	18	・クリニック(技術指導会の実施):3競技 計3回 延べ333人 ※8月のソフトボールは雨天中止 ・大会応援バスツアー:3チーム各1回 237人 ・啓発イベントの実施(デンパーク、七夕まつり):2回 ・ホームチームの啓発チラシ(広報折込):年1回 ・広報あんじょうの表紙に各チーム掲載:4/1、12/1、1/15 ・広報あんじょう折込で日本リーグ観戦案内チラシを配布:3回 ・体育館リニューアル事業(4月8日):183人 ・ソフトボール場リニューアル事業(7月1日):800人 ・ウインターカップパブリックビューイング(12月28日):80人	・クリニック(技術指導会の実施):3競技 計4回 延べ554人 ※野球のみ、小学生・中学生と2回実施 ・大会応援バスツアー:6回(各競技2回) 延べ421人 ・啓発イベントの実施(デンパーク、七夕まつりなど):全4回 ・ホームチームの啓発チラシ(広報折込):年1回 ・広報あんじょうにチームの試合情報掲載:年3回
②企業と連携した大会の充実	企業協賛・ボランティアほか	2	2	2	・シティマラソン協力企業:協賛18社、協力14団体 ・デンパーク駅伝協力企業:協賛15社、協力10団体	・シティマラソン協力企業:協賛14社、協力14団体 ・デンパーク駅伝協力企業:協賛14社、協力10団体

○重点施策3 オリンピック・パラリンピックに関連した取り組み(※主に国際・全国大会推進活動実行委員会の取り組み内容)

◆東京2020オリンピック・パラリンピックは、人々に夢や感動を与えてくれる世紀の一大イベントであり、間近に一流の選手を観ることができる絶好の機会となります。開催気運の向上による大会成功への貢献、市民のスポーツへの興味・関心の向上のため、大会に関する情報の周知や出場選手の紹介、交流機会の創出などに努めます。
◆組織委員会が作成する事前キャンプ候補ガイドへの掲載や、姉妹都市協定を結んでいる都市を仲介しての交渉などによる事前キャンプ地誘致に努めます。

項目	内容	事業数		H30実績	H29実績
		基礎年度(H26)	H29		
①県強化指定選手奨励金制度の充実	東京オリンピック・パラリンピックを見据え、愛知県で強化指定を受けた選手への更なる支援制度の充実	/	1	1	・30年度指定者数:6人(オリンピック:セーリング、レスリング(2人)、バスケットボール、スポーツクライミング。パラリンピック:ポッチャ。) ・29年度指定者数:2人(オリンピック:セーリング。パラリンピック:ポッチャ。)
②女子ソフトボール世界選手権事前合宿の誘致	8月2日から千葉県で開催されたソフトボール世界選手権の事前合宿の誘致	/	0	1	・7月25日から8月1日までの間、大会の事前合宿をカナダ女子ソフトボール代表チームが実施(ボランティア通訳:25人) ・平成30年7月25日から8月1日までの間、大会の事前合宿をカナダ女子ソフトボールチームが実施することを決定
③日本リーグの開催支援	ホームチームでもある女子ソフトボールチーム「デンソー プライトペガサス」及び女子バスケットボールチーム「アイシン・エイ・ダブリュ ウイングス」の本拠地開催支援	/	0	3	・女子ソフトボール(9月8日、9日):3,157人 ・女子バスケットボール(10月28日):1,600人 ・女子バスケットボール(1月26日、27日):1,747人 ・ソフトボール場及び体育館改修工事のため、未開催
④全日本大学女子ソフトボール選手権開催の準備	2019年～2023年に本市で開催する全日本大学女子ソフトボール選手権に向けた準備	/	/	/	・30年度開催地の石川県金沢市での現地視察 ・駐車場対策及びイベント企画等の検討並びに宿泊施設、飲食店及び駅等との協力体制の確認 ・全日本大学女子ソフトボール選手権開催の覚書の締結
⑤東京オリンピック・パラリンピックに向けた準備	東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み	/	/	/	・11月8日に東京2020フラッグツアーを実施し、市内園児120人が見学 ・聖火リレーの誘致 ・合宿誘致活動 ・内閣府へホストタウンの申請(継続審査) ・合宿誘致実績他自治体への聞き取り調査

●基本方針1 「する」スポーツの振興

◆誰もが、それぞれの年齢や性差、体力等に応じて、生涯にわたり日常的にスポーツに親しむことができる環境の充実とともに、国際・全国大会などで活躍の機会が増えるよう、競技力の向上を図ります。
◆「する」スポーツの振興を通じて、スポーツの楽しさや爽快感、達成感などを感じることができる機会が増え、多くの人の暮らしが喜びに溢れた豊かなものになることにより、市民の元気な笑顔を広がります。

項目	内容	事業数			H30実績	H29実績
		基礎年度(H26)	H29	H30		
(1)生涯にわたりスポーツに親しめる環境の充実						
①ラジオ体操の推進	誰もが親しみやすく、スポーツを始めるきっかけづくりとして、気軽に実践できるラジオ体操を推進	2	7	11	・NHKテレビのラジオ体操指導者によるケンサチラジオ体操会(3月24日):181人 ・おはよう!ふれあいラジオ体操会(夏休み期間) 参加実績:1日最大8,614人、延べ42,737人 ・市民向けラジオ体操実技講習会(7月7日):31人 ・教員向けラジオ体操実技講習会(2月15日):36人 ・まちかど講座ラジオ体操講習会(計5回):121人 ・学校向け講師派遣授業(計2回):289人	・市制施行65周年記念事業ケンサチエクササイズ(9月23日):160人 ・おはよう!ふれあいラジオ体操会(夏休み期間) 参加実績:1日最大9,685人、延べ47,841人 ・市民向けラジオ体操実技講習会(7月9日):48人 ・教員向けラジオ体操講習会(2月16日):40人 ・まちかど講座ラジオ体操講習会(計2回):延べ370人
②スポーツをはじめのきっかけとなる機会の提供	ランニングなど、気軽に始められる日常スポーツの取り組み機会の充実と提供	2	2	2	・安城シティマラソン(12月9日):3,275人 ・安城市民デンパーク駅伝大会(2月10日):276チーム、1,645人	・安城シティマラソン(12月10日):3,382人 ※50回大会としてゲストランナー「増田明美」さんを招聘 ・安城市民デンパーク駅伝大会(2月11日):267チーム、1,614人
③地域におけるスポーツ機会の提供	初心者でも楽しめるニュースポーツや健康づくりを開催し、地域におけるスポーツ機会の充実	2	2	2	・地域スポーツ振興事業 実績:7,471人(市内21小学校区) ・地域スポーツ交流会 実績:3,164人(市内8中学校区)	・地域スポーツ振興事業 実績:8,894人(市内21小学校区) ・地域スポーツ交流会 実績:3,460人(市内8中学校区)
④ライフステージに応じたスポーツの普及促進	誰もが年齢、性差、体力に応じて、スポーツに親しむことができるようライフステージに応じたスポーツ機会の創出	3	3	3	・安城市スポーツスクール:11種目、延べ989人(3期合計) ・歩けランニング運動:21会場、延べ7,808人 ・ファミリーキャンプ(8月18日、19日):56人	・安城市スポーツスクール:8種目、延べ702人(3期合計) ・歩けランニング運動:21会場、延べ7,183人 ・ファミリーキャンプ(8月19日、20日):63人
⑤スポーツ情報の提供充実	スポーツに関する情報や気軽に実践できるスポーツの紹介などの提供の充実				・生涯学習「あんでな」各号にてスポーツ情報の掲載 ・広報「あじょう」によるスポーツ情報の掲載 ・ニュースポーツの貸出回数:228回	・生涯学習「あんでな」各号にてスポーツ情報の掲載 ・広報「あじょう」によるスポーツ情報の掲載 ・ニュースポーツの貸出回数:223回
(2)競技スポーツの振興						
①競技大会の開催・支援	各種種目別の競技大会を実施し、市民の競技力向上を図る	3	3	3	・安城選手権夏季水泳競技会(8月5日):550人 ・安城選手権秋季競技大会(10月6日～28日):19競技 延べ3,611人 ・安城選手権冬季スキー競技会:一般(2月17日)51人、少年(3月3日)36人	・安城選手権夏季水泳競技会(8月6日):648人 ・安城選手権秋季競技大会(9月25日～10月23日):19競技 延べ3,717人 ・安城選手権冬季スキー競技会:一般(2月17日)59人、少年(3月4日)41人
②全国大会等出場激励金制度の実施	国際大会、全国大会等に出場する選手の意欲向上や活動の支援	1	1	1	・国際大会:6人 ・全国大会:個人249人、団体14(210人) ※内、障がい者5人	・国際大会:13人 ・全国大会:個人251人、団体15(182人) ※内、障がい者0人
③スポーツ表彰制度の実施	選手や指導者の功績、スポーツ普及の貢献を讃えるとともに、更なる向上を図る	1	1	1	・栄誉者2人・功労者:2人 ・特別優秀選手:3人 ・優秀選手・団体:171人、16団体	・栄誉者1人・功労者:5人 ・特別優秀選手:1人 ・優秀選手・団体:81人、13団体
④ジュニア選手の育成	体育協会やトップチームと協働し、次代を担うジュニア選手の発掘や競技力向上を図る	1	5	4	・体育協会主催スポーツ教室:15教室、延べ1,454人(3期合計) ・ホームチームによるクリニック(技術指導会の実施):3競技 計3回 延べ333人 ※8月のソフトボールは雨天中止	・体育協会主催スポーツ教室:9教室、延べ1,053人(3期合計) ・ホームチームによるクリニック(技術指導会の実施)4回 延べ554人

●基本方針2 「みる」スポーツの振興

◆スポーツをみる楽しさを感じ、さらに、スポーツをするきっかけにつながるよう、関心度の高い競技やトップレベルの試合が観戦できる機会の充実を図ります。
◆「みる」スポーツの振興を通じて、夢や感動を味わうことができる機会が増え、多くの人に、暮らしの新たな楽しみが生じることにより、市民の元気な笑顔を広がります。

項目	内容	事業数			H30実績	H29実績
		基礎年度(H26)	H29	H30		
(1)スポーツ観戦機会の充実						
①模範試合や指導会の開催	トップレベルの試合観戦の機会の提供や地元チームの選手による指導会を実施することでジュニア選手の意欲や競技力向上を図る	1	1	1	・スポーツ観戦事業(3月17日):ポッチャ112人	・スポーツ観戦事業(1月21日):サッカー450人
②ハイレベルな試合の開催支援	スポーツへの関心と地元への愛着を高めるため、日本リーグなどのハイレベルな試合の開催支援		6	6	・ホームチームの大会応援バスツアー:3チーム各1回 237人 ・日本リーグ(女子ソフトボール)(9月8日、9日):3,157人 ・日本リーグ(女子バスケットボール)(10月28日):1,600人 ・日本リーグ(女子バスケットボール)(1月26日、27日):1,747人	・ホームチームサポーター事業応援バスツアーの開催各チーム2回(計6回):延べ421人
③地元のトップレベル選手・チームの紹介	地元企業チームを身近な存在とすることができるよう、企業と協働した地域貢献活動の充実				・広報あじょうの表紙に各チーム掲載:4/1、12/1、1/15 ・広報あじょう折込で日本リーグ観戦案内チラシを配布:3回	・ホームチームの啓発チラシ(広報折込):年1回 ・広報あじょうにチームの試合情報掲載:年3回

●基本方針3 「おしえる」スポーツの振興

◆安全に楽しく、質の高いスポーツの指導が行われるよう、スポーツ指導者の養成を行います。
 ◆「おしえる」スポーツの振興を通じて、スポーツの指導を行い、指導を受けた者から尊敬され、さらに質の高い指導につながる好循環を生み出します。適切なスポーツ指導が行われ、多くの人が充実感や満足感を味わう機会が増えることにより、市民の元気な笑顔を広げます。

項目	内容	事業数			H30実績	H29実績
		基礎年度(H26)	H29	H30		
(1)優れたスポーツ指導者の養成と活動機会の拡大						
①スポーツ指導者養成講習会への参加促進	優れた指導者を育成するために市独自の指導者講習会を活用した育成・支援の充実	1	1	1	・スポーツ指導者養成講習会:51人(延べ資格保有者:95人)	・スポーツ指導者養成講習会:43人(延べ資格保有者:101人)
②指導者の資質の向上	変化する社会状況に対応した十分な内容を維持するため、最新の情報の提供や指導者の自己啓発機会の充実	1	1	1	・公開講座の開催(2月23日):90人	・公開講座の開催(1月27日):54人
③スポーツ指導者資格保有者の紹介	スポーツ指導者資格保有者の活動機会の充実・拡大				・有資格指導者のホームページ公開や派遣方法等の活用方法の検討	・有資格指導者のホームページ公開や派遣方法等の活用方法の検討

●基本方針4 「ささえる」スポーツの振興

◆スポーツ推進委員、ボランティア及び協賛企業などが最大限に力を発揮できる環境を整え、スポーツをサポートする体制の強化を図ります。
 ◆さらにボランティアや企業と連携し、スポーツを「ささえる」輪を広げることで、多くの人の暮らしが心豊かなものになることにより、市民の元気な笑顔を広げます。

項目	内容	事業数			H30実績	H29実績
		基礎年度(H26)	H29	H30		
(1)スポーツ推進委員の活動支援						
①スポーツ推進委員の認知度向上	スポーツ推進委員の認知度向上のための機会の充実や、推進委員独自の交流会の開催				・スポーツ推進委員広報誌「マイスポーツ安城」の発刊 年2回(9月、3月) ・中央交流会の開催(11月17日):82人参加(カローリング)	・スポーツ推進委員広報誌「マイスポーツ安城」の発刊 年2回(9月、3月) ・中央交流会の開催:65人参加(ソフトバレー)
②スポーツ推進委員の活動充実	スポーツ推進委員として資質や技能の向上のための研修会や部会の開催				・全体会3回(4月、9月、2月) ・各部会26回(役員会10回、事業部6回、広報部6回、研修部4回) ・スポーツ推進委員研修会9回(市外5回、市内3回) ・ケンサチウェルネスフェスタにてニュースポーツ体験会(6月23日、24日)3,741人 ・東海四県スポーツ推進委員研究大会における研究発表(2月2日)	・全体会3回(4月、9月、2月) ・各部会15回(役員会4回、事業部4回、広報部4回、研修部3回) ・スポーツ推進委員研修会9回(市外5回、市内4回)
(2)ボランティアをはじめとする各種協力の拡大						
①ボランティアの育成・支援	市主催大会等にて、市民ボランティアの協力機会の充実と育成の強化	2	2	3	・安城シティマラソン483人 ・安城市民デンパーク駅伝239人 ・カナダ女子ソフトボール代表チーム事前合宿25人(通訳)	・安城シティマラソン623人 ・安城市民デンパーク駅伝343人
②スポーツ団体、企業等からの協力拡大	企業による協賛や協力による多面的なスポーツ支援の体制作り	2	2	2	・安城シティマラソン 協賛18社、協力14団体 他一般ボランティア ・安城市民デンパーク駅伝 協賛15社、協力10団体 他一般ボランティア	・安城シティマラソン 協賛14社、協力14団体 他一般ボランティア ・安城市民デンパーク駅伝 協賛14社、協力10団体 他一般ボランティア

●基本方針5 スポーツ施設環境の整備

◆気軽に、安心してスポーツ施設を利用することができるよう、スポーツ施設の充実と適切な管理に努めます。
◆スポーツ施設環境の整備を通じて、いつでも、どこでも、誰でもスポーツを手軽に楽しむことができ、多くの人が暮らしに豊かさを感じるにより、市民の元気な笑顔を上げます。

項目	内容	事業数			H30実績	H29実績
		基礎年度(H26)	H29	H30		
(1)スポーツ施設環境の充実						
①スポーツ施設の計画的な整備・充実	スポーツ施設の適正の整備・配置及び維持、スポーツ施設の設備充実、計画的な改修				ソフトボール場A球場大規模改修、レジャープール改修工事、野球場防球ネット改修工事、陸上競技場夜間照明設備改修工事 など	安城市体育館大規模改修、ソフトボール場A球場大規模改修、レジャープール改修設計 など
②身近なスポーツ施設・整備の充実	庁内で連携し、身近にスポーツが実施できる機会や場所の充実				公園施設の充実など、庁内での連携の強化に努める	公園施設の充実など、庁内での連携の強化に努める
③学校施設の整備等の充実	学校と連携し、活動機会の充実や市民のニーズに応じた器具の充実				市民のニーズに応じた器具の充実や点検し、更新など活動機会の充実 ※30年度より、篠目中学校の夜間テニスコートを開放	市民のニーズに応じた器具の充実や点検し、更新など活動機会の充実
(2)スポーツ施設の適切な管理						
①スポーツ施設の利用促進	スポーツ施設をより多くの人が利用できるよう、予約方法など運営方法などサービス向上のための調査、研究				冬季のテニスコート利用について、早朝利用ルールの見直しを実施し、利用可能時間を増やした(8時から7時に前倒し)	屋外体育施設の利用時間区分の細分化など、利用ルールの見直しを実施
②スポーツ施設における安全確保	スポーツ事故の未然防止のための保守管理・点検機会の充実				バスケットゴール保守点検の実施、スポーツ指導者へのスポーツ医学講習会及びAED講習会の実施など	バスケットゴール保守点検の実施、スポーツ指導者へのAED講習会の実施など

●基本方針6 スポーツ団体等の育成・支援

◆スポーツ団体等の活動充実のため、育成と各種支援を行います。
◆スポーツ団体等の育成・支援を通じて、スポーツが盛んに行われ、多くの人が健康で楽しみを感じながら暮らすことにより、市民の元気な笑顔を上げます。

項目	内容	事業数			H30実績	H29実績
		基礎年度(H26)	H29	H30		
(1)スポーツ団体等の育成・支援						
①ホームチームサポーター事業の創設	市内にあるトップ企業チームと補完関係を強化し、ジュニア指導会や日本リーグの応援などの体制づくりに努めます。				・「〇重点施策2 ①ホームチームサポーター事業の推進」参照 ※平成28年3月17日ホームチームサポーター事業実行委員会を設立	・「〇重点施策2 ①ホームチームサポーター事業の推進」参照 ※平成28年3月17日ホームチームサポーター事業実行委員会を設立
②NPO法人安城市体育協会の組織体制の充実・支援	スポーツ振興の幅広い取り組みを推進していくため、組織体制を支援します。				・安城選手権などの様々な競技運営業務や屋外体育施設の管理業務を委託し、競技力の向上や組織体制の充実を支援 ・一般財団法人安城市スポーツ協会の設立手続き等に対する支援(設立:H31.4.1)	安城選手権を始めとした様々な競技運営を委託し、競技力の向上と組織の支援体制の充実
③各種スポーツ団体の育成・支援	総合型地域スポーツクラブの地密着・充実など各種スポーツ団体の活動を支援し、新たな団体の育成に努めます。				地域で継続して活動できる支援の充実と育成の実施	地域で継続して活動できる支援の充実と育成の実施

●基本方針7 オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興

◆東京2020オリンピック・パラリンピックなど国際大会を控え、開催気運やスポーツに対する関心が高まるなか、こうした動向をさらに大きなものにするための機会の創出や情報共有に努めます。
◆オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興を通じて、多くの人が、スポーツの素晴らしさを再認識し、スポーツに親しみ、関わり、健康で心豊かに暮らすことにより、市民の元気な笑顔を上げます。

項目	内容	事業数			H30実績	H29実績
		基礎年度(H26)	H29	H30		
(1)オリンピック・パラリンピックなどの開催気運と関心の向上						
①オリンピック・パラリンピックなどの開催気運の向上	東京オリパラの開催に伴い、交流機会の創出や大会情報の提供など、開催気運の向上に繋がる取組みに努める。				・「〇重点施策3」参照 ・アジア大会などの国際大会または全国大会の開催に伴う、本市での開催及び合宿の誘致などの機会充実のための調査研究の実施 ※平成30年3月27日に国際・全国大会推進活動実行委員会を設置	・東京オリンピック・パラリンピックに関する情報の収集 ・平成30年3月27日に国際・全国大会推進活動実行委員会を設置
②スポーツに対する関心の向上	国際大会の開催によるスポーツに対する高まりを好機にとらえ、スポーツの素晴らしさを再認識できるよう、情報提供に努める。				・全日本大学女子ソフトボール選手権(インカレ)の誘致※2019年～2023年 ・アジア大会などの国際大会または全国大会の開催に伴う、本市での開催及び合宿の誘致などの機会充実のための調査研究の実施	・全日本大学女子ソフトボール選手権(インカレ)の誘致※2019年～2023年 ・アジア大会などの国際大会または全国大会の開催に伴う、本市での開催及び合宿の誘致などの機会充実のための調査研究の実施